

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社  
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。春深く、木々の緑に心躍るこの頃ですが、皆様お変わりございませんか。

色々なイベントの中止に際して、水泳等毎日頑張ってきた方々の試合が中止となり目標を見失っていることと思ひ心が痛くなるこの頃ですが、努力に無駄はないと信じ未来に向かっていけたらと思います。花冷えの時節柄、お身体をくれぐれもご自愛ください。

## サンライズの物語

### 一人ひとりができることを考える

### 見えない敵に立ち向かう物語



今、世界規模での感染症コロナウイルスが蔓延しております。ウイルスに対する対応は医療側の問題となりますが、私達個人レベルで考えると一人一人ができる事を考える事が重要だと思います。

何ができるか・・・

外出を控える事、手を洗う事、うがいをする事、室内の換気に努める事など身近でできることを実践していくことしかないかと思ひます。

目に見えない敵に対する恐怖は皆同じだと思いますが流言飛語に惑わされず、落ち着くことが重要だと考えます。

国民一人一人が冷静になり、インフルエンザやコロナウイルス等未知のウイルスに気持ちで負けてしまわないようにする事です。

そして、この事を糧に、人類が考えなければならない事は国と国の争いや隣人とのいさかいは虚しいことだと言う事を自分自身に戒めることです。

以前、ナイチンゲールが世界を平和にするには、まず自分の家族を大切にしなければいけない、まず、自身の心の中にある恐怖を払拭し、日本人特有の礼節や大和魂を思い出し、今こそ見えない敵に立ち向かうのです。

気持ちで負けてしまっただけでは本当の意味でのウイルスに対しての敗北です。介護職の職務を全うする為にも強い信念が必要だと改めて感じています。

# サンライズのデイサービス陽光だより

【介護職員】  
青山 明人



サンライズのデイサービス陽光の介護職員の青山です、よろしくお願いいたします。

なんでもやります！がんばります！

【入社 1月14日】 【血液型O型】



井上から  
エール！

以前は施設のリーダーに従事しており  
介護職としての視点が素晴らしく  
今後の活躍に期待しております。

## 介護に役立つ書籍紹介

### わけあり記者の両親ダブル介護

著：三浦 耕喜

2019年3月まで中日新聞に連載していた人気コラム「生活部記者の両親ダブル介護」（全65回）の書籍化。政治部の花形記者であった著者が、過労で鬱となり、復帰後には両親のダブル介護に加えて、自身は難病パーキンソン病を発症。さまざまな問題を抱えながら、毎日をどのように生き、立ち向かっているのか—介護経験者の実体験に基づく手記やアドバイスをユーモアあふれる文章で綴る。ある日突然やってくる現実問題。その支えとなる一冊！



## NEWS 今月のニュース

### 悩み相談も受ける「正社員チワワ」飼い主より人気者 介護施設での肩書は？

沖縄県那覇市識名の高齢者施設「アプレシオ真地」でチワワのマルが「正社員」として活躍している。利用者や同僚に癒やしを提供したり、時には悩み相談を受けたり。施設の「笑顔引き出し係」として日々走り回っている。

マルの本名は平敷マル。施設の看護師として働く平敷美由紀さん（40）が2カ月前に家族として迎え入れた。平敷さんは日中は職場で過ごすためマルの相手ができ

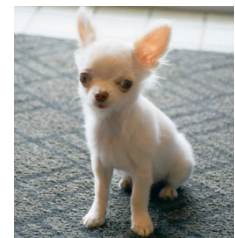
ない。「1人で家に置いておくのはかわいそう」と、昨年のクリスマスシーズンから職場に連れてくるようになった。

施設を利用する人は80代以上。平敷さんは「私の名前は覚えてくれないけど、マルが来ると『マルおいでー』と呼ぶ人もいますよ」とその人気ぶりを明かす。80代の利用者の女性はマルを抱えながら「小さくてかわいいねえ」といとおしそうになでた。

施設の代表を務める名嘉智之さん（43）は「マルが来て、さらに施設の雰囲気明るくなった」とにっこり。マルの撮影係も担当

し、「最初の頃は全然近寄ってくれなかったけど、最近はすりすりしてくれるのでうれしい」と顔をほころばせた。

マルはタイムカードで出勤の管理をしている。現在の時給は10円。名嘉さんは「これからもみんなを笑顔にする存在として居続けてほしい」と願った。



<沖縄タイムス+  
2020年3月2日(月)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>